米国特許商標庁 Michelle K. Lee 長官、理系女性活躍のプログラムを推進中

２０１６年８月１５日
JETRONY 知財部
今　村　、　丸　岡

米国特許商標庁（以下：USPTO）の歴史上、初めての女性長官となった Michelle K. Lee 長官[1]は、就任時に「イノベーション経済の活性化に向けた取組みの中で、女性独特の才能や創造力は必要不可欠であるにもかかわらず、科学技術分野に足を踏み入れる女性の数は少ない。」とコメントするなど、理系分野における女性登用について強い問題意識を持っている。

今般、米国西海岸の有力新聞、マーキュリーニュース誌のインタビュー[2]でも重ねて強調しており、最近の具体的な活動を以下にまとめる。

①USPTO で女性職員を積極に登用

職員の３５パーセント、管理職の約４０パーセント[3]、そして理系のバックグラウンドを有する職員の約２７パーセントが女性である。実際、商標局幹部、ジェネラルカウンセル、特許局品質管理担当副局長など、最近の女性幹部登用は顕著である。

②科学技術や特許法関連分野で活躍する女性を増やす為に、「All In STEM[4]」という運動を推進し、全米各地でシンポジウムやセミナーを開催。

公式ウェブサイト：http://www.uspto.gov/learning-and-resources/allinstem

③ガールスカウト（Scout Council of the Nation’s Capital)等[5]と連携

ガールスカウトのグループと連携し、参加する女子が、自身で知財について研究し、USPTOが準備した質問シートを記入、その結果をリーダーに提出し承認される事により、勲章のようなあて布をもらうことができるIPパッチ制度を実施。

公式ウェブサイト：https://www.uspto.gov/kids/patch.html

以上

---

[1] 2015 年 3 月 17 日　Michelle K. Lee 氏が USPTO 長官に就任

[2] http://www.mercurynews.com/business/ci_30229427/q-director-u-s-patent-and-trademark-office

[3] 同長官のコメントによれば、民間企業の女性管理職率は１５パーセント未満。

[4] STEM とは、Science, Technology, Engineering and Math の略称であり、理系分野を指す略称。

[5] そのほかに、知的財産所有者協会（IPO）も協賛。